

学校基本調査の結果概要

県統計課人口統計係

調査の概要

この調査は、学校基本調査規則に基づいて学校に関する基本的な事項を調査し、教育行政上の基礎資料を得るため毎年実施しているものであり、本年5月1日現在の結果は下記のとおりである。なおこの数値は概数であり、後日文部省の公表をもつて確定数となります。

1. 目的

この調査は、学校に関する基本的な事項を総合的に調査し、学校教育行政の基礎資料を得る。

2. 調査期日

昭和45年5月1日

3. 調査の範囲

学校教育法第1条の学校、同法83条の各種学校

4. 調査の方法

国立の学校および大学、短大については文部省が直接調査し、その他の高等学校以下の学校については都道府県を通じて調査する。

5. 主たる調査事項

学校、学級数、幼児児童生徒数、教員数、職員数、卒業後の状況調査

一 学 校 数

学校総数（高等学校以下の各学校で、国立幼、小、中および各種学校は除く、以下各表とも同じ）は1,094校で学校種別では表1のとおりである。

小・中学校においては年々学校統合、分校の廃止等が行われ減少したが、幼稚園においては、昨今の幼児教育に対する関心の高まりとあわせて、幼稚園未設置町村の解消促進により本年は23園が新設され、大幅な増加をみせた。

表 1 学 校 数

区 分	総 数			幼 稚 園			小 学 校			中 学 校			高 等 学 校			盲ろう養護	
	合計	公立	私立	合計	公立	私立	合計	公立	私立	合計	公立	私立	合計	公立	私立	計	公立
昭和44年	1,076	970	106	177	90	87	600	599	1	209	206	3	84	69	15	6	6
// 45年	1,094	980	114	200	105	95	594	594	1	205	202	3	87	72	15	7	7
前年との比較	18	10	8	23	15	8	△ 5	△ 5	—	△ 4	△ 4	—	3	3	—	1	1

一 学 級 数

1. 幼稚園

園数の増加に伴って学級数も大幅に増加し、658（前580）学級となった。

公私立別にみると公立257学級、私立401学級となっている。

なお、1学級あたりの平均園児数は35.4人である。

2. 小学校

総数6,551学級であり前年より18学級減少した。編制方式別にみると、単式学級6,203（前年6,223）で20学級減少、複式学級63（前年64）で1学級減少、特殊学級285（前年282）で3学級増加となっており、特殊学級のみにについては年々増加の傾向を示している。

3. 中学校

生徒の減少に伴い前年より106学級と大幅に減少し、3,105学級となった。

編制方式別にみると、単式学級2,911（前年3,048）で

137学級の減少、特殊学級194（前年163）で31学級の増加となっており、小学校同様単式学級が減少し、特殊学級の増加が目立っている。

幼 児、児 童、生 徒 数

1. 幼稚園

園児総数は23,279人（前年20,354）で前年より14.4%増加した。

公・私立別の園児数は、公立9,332人（男4,728人、女4,604人）、私立13,947人（男7,184人、女6,763人）である。

また、年令別では、3才児484人、4才児5,786人で、5才児17,009人となっている。

2. 小学校

児童数は年々減少し本年の児童総数は207,689人（前年209,305）で前年より0.8%減少した。

男女別にみると、男106,050人、女101,639人となっており、学年別では表2のとおりである。

表 2 小 学 校 の 学 年 別 生 徒 数

区 分	総 数	1 学 年	2 学 年	3 学 年	4 学 年	5 学 年	6 学 年	
昭和44年	総 数	209,305	33,435	33,029	34,165	35,250	36,923	36,503
	公 立	209,297	33,433	33,027	34,163	35,249	36,922	36,503
	私 立	8	2	2	2	1	1	—
昭和45年	総 数	207,689	34,037	33,625	33,215	34,401	35,358	34,053
	公 立	207,679	34,034	33,623	33,213	34,399	35,357	37,053
	私 立	10	3	2	2	2	1	—
前年との比較	△ 1,616	602	596	△ 950	△ 849	△ 1,565	550	

また、市町村別の児童数を前年と比較すると、増加した市町村は6市13町村であり、その主な市町村は日立市（746人）をトップに、水戸市（510人）、取手町（487人）勝田市（366人）、土浦市（267人）、波崎町（150人）、鹿島町（135人）等となっている。

3. 中学校

小学校同様年々減少し、生徒総数116,262人（前年121

,820）で、前年より4.6%減少した。

男女別にみると、男59,060人、女57,202人であり、学年別では表3のとおりである。

また、市町村別の生徒数をみると、前年より増加したのは6町村であり、その主な町村は取手町（37人）をはじめ、神栖町（34人）、波崎町（30人）、鹿島町（26人）等となっている。

表 3 中学校の学年別生徒数

区 分	総 数	1 学年	2 学年	3 学年	
昭和44年	総数	121,820	38,774	40,943	42,103
	公立	120,851	38,456	40,618	41,777
	私立	969	318	325	326
昭和45年	総数	116,262	36,470	38,829	40,963
	公立	115,315	36,171	38,507	40,637
	私立	947	299	322	326
前年との比較	△ 5,558	△ 2,304	△ 2,114	△ 1,140	

表 4 高等学校の生徒数 (単位:人)

区 分	総 数	全 日 制			定 時 制				専攻科	別科			
		計	1 学年	2 学年	3 学年	計	1 学年	2 学年			3 学年	4 学年	
昭和44年	総数	90,143	85,003	28,463	28,275	28,265	5,082	1,411	1,306	1,246	1,119	55	3
	公立	73,063	67,935	22,370	22,655	22,910	5,082	1,411	1,306	1,246	1,119	46	—
	私立	17,080	17,068	6,093	5,620	5,355	—	—	—	—	—	9	3
昭和45年	総数	89,608	84,798	28,771	28,093	27,934	4,768	1,195	1,224	1,180	1,169	39	3
	公立	71,846	67,046	22,421	22,190	22,435	4,768	1,195	1,224	1,180	1,169	32	—
	私立	17,762	17,752	6,350	5,903	5,499	—	—	—	—	—	7	3
前年との比較	△ 535	△ 205	308	△ 182	△ 331	△ 314	△ 216	△ 82	△ 66	50	△ 16	—	

等部220人となつている。

教 員 数

教員総数は19,335人(前年19,189)で、0.8%減少した。(表5)本務、兼務別にみると、本務教員18,910人兼務教員425人となつている。

4. 高等学校
生徒総数は89,608人(前年90,143)で前年より0.6%減少した。
男女別にみると、男43,993人、女45,615人となつている。

また、公私立別、全定別、学年別の生徒については表4のとおりである。

5. 盲聾養護学校

本年の幼児・児童・生徒数は、県立友部養護学校の新設に伴ない、前年より99人増加し、801人になった。
内訳は、幼稚部16人、小学部344人、中学部221人、高

また、男女別の教員構成は、男12,023人、女7,312人であり、男子教員が女子教員を大きく上回っている。
これを学校種別にみると、幼稚園だけが女子教員が男子教員より多く男208人女889人となり、他の学校についてはいずれも男子教員が女子教員を上回っている。

表 5 教 員 数

区 分	総 数			幼 稚 園			小 学 校			中 学 校			高 等 学 校		盲聾養護		
	計	公立	私立	計	公立	私立	計	公立	私立	計	公立	私立	計	公立	計	公立	
昭和44年	19,189	17,858	1,331	970	422	548	8,283	8,280	3	5,400	5,328	72	4,369	3,661	708	167	167
昭和45年	19,335	17,914	1,421	1,097	483	614	8,296	8,293	3	5,259	5,188	71	4,496	3,763	733	187	187
前年との比較	146	56	90	127	61	66	13	13	—	△ 141	△ 140	△ 1	127	102	25	20	20

卒業後の状況調査

本年3月県下の中学校、高等学校を卒業した生徒について5月1日現在で調査した結果はつぎのとおりである。

1. 中学校

卒業者総数41,993人であり、前年より1,346人(3.1%)減少した。

卒業者を進路別にみると、進学者29,542人(70.4%)就職者8,242人(19.6%)、就職進学者1,168人(2.8%)無業者2,954人(7.0%)、その他87人(0.2%)となつている。

(1) 進学者

進学者総数(就職進学者を含む)は30,710人(男15,028人、女15,682人)で前年より279人の増加であり、進学者率で前年より2.9%伸びて73.1%となり僅かながら上昇はしたが、依然全国的には最低クラスにランクされている。

(2) 就職者

就職者総数(就職進学者を含む)は9,410人(男5,167人、女4,243人)で前年より1,961人減少した。

就職者を産業別にみると、製造業への就職が最も多く、5,635人(59.9%)、次いでサービス業869人(9.2%)、農業789人(8.4%)、建設業712人(7.6%)の順となつている。

職業別では、技能工、生産工程作業者が最も多く、6,618人(70.3%)、次いでサービス職業834人(8.9%)の順となつている。

また、県内、県外別の就職状況をみると、県内6,444人(68.5%)、県外2,966人(31.5%)となつており、県内就職は前年の67.7%を上回り今までの最高率を示した。

一方、県外就職をみると、大半が関東地方に就職しており、東京都1,821人(61.4%)をトップに、神奈川県350人(11.8%)、埼玉309人(10.4%)の順となつている。

高 等 学 校

卒業者総数29,121人で、前年より1,838人(5.9%)減少した。

卒業者を進路別にみると、進学者4,862人(16.7%)就職者18,353人(63.0%)、就職進学者158人(0.5%)、無業者5,547人(19.1%)、その他201人(0.7%)となつている。

(1) 進学者

進学者総数(就職進学者を含む)は5,020人(男2,434人、女2,586人)で前年より120人の増加で、進学者率は17.2%(前年15.8%)となり、中学卒業と同様僅かに上昇はしたが、依然、全国最低クラスとなつている。

(2) 就職者

就職者総数(就職進学者を含む)は18,511人(男9,204人、女9,307人)で、前年より1,486人減少した。

就職者を産業別にみると、製造業7,140人(38.6%)が最も多く、次いで卸売・小売業4,434人(24.0%)、農業1,397人(7.6%)の順になつている。

職業別では、技能工、生産工程作業員5,526人(29.9%)が最も多く、次いで事務従事者6,140人(33.2%)、販売従事者3,115人(16.8%)の順になつている。

また、県内、県外別の就職状況をみると、県内11,899人(64.3%)、県外6,612人(35.7%)となつており、県内就職率は年々増加している。

一方、県外就職をみると、中学卒同様関東近県への就職が圧倒的に多く、東京都の4,390人(66.4%)をトップに、次いで千葉721人(10.9%)、神奈川県634人(9.6%)の順になつている。